

Q 樋門管理者の研修会は何度か行っているのか。去年あたり樋門の管理がされてなかった経過があったので。

A 農家も若い方が後継者になり、樋門の管理のことまで引き継いでいない方もおり、研修会開催の要望があったので、樋門設置管理者の北海道に開催をお願いし、今年度初めて樋門管理研修会を開催しました。今後に必要な情報の提供に努めてまいります。

Q 塩狩温泉跡地を今後どのような形で進めていくのか。目玉がないところには人は来ないのでは。

A 塩狩の観光地化だけで人を呼ぶのは難しいと考えます。上川北部を全体のメニューとして、その中の1つのコンテンツとして考えなければなりません。周遊する際に塩狩・夫婦岩を選んでもらえるようにしたいと考えております。1市3町着地型観光推進協議会などで広域の周遊観光など検討していきます。

Q フットパスは50人ほど集まると言っていたが、土曜日だと行ける方の制限がかかるのでは。せめて町民がそこへ行ってどのようなところか知るべきでは。

A その通りだと思います。行きたくても足が悪くていけない方などもあります。和寒町民に限って花見ツアーというのを昨年実施しました。それが好評であり、中々見に行けないので見られて良かったという声がありました。桜も素晴らしいものがあるので町民の皆さんに知ってもらうよう努力していきます。

Q コロナの影響もある中で、飲食店で集まっている時もある。罰金とかはなく個人の責任なのか。

A 各業態で感染予防マニュアルが作成され、それに沿って営業などが行われています。コロナ禍の中にあっても、できる限り日常生活が続けられるよう、皆さん一人ひとりの感染予防の協力が必要です。

Q ごみの問題に関して、生ごみを有料にしたが、一般ごみも少しずつ負担していくのがいいのではないか。少しずつ情報を町民に示していただければ。

A ごこの町でも進んでいる話で、他の町に比べたらごみの負担は少ないと思いますが、今後、将来の有料化について少しずつ理解してもらうことができるよう、情報提供していきます。

Q 学校の1年間の授業時間数が足りなくなつて、留年というようなことをテレビで言っていたが、大丈夫なのか。

A 年度内にその学年で学ばなければならぬ内容は、終わらせてくださいというのが国の方針です。現場もそのように対応しています。運動会や学芸会も事前の練習時間を少し短くして、減らした時間を勉強の時間に回すなど工夫をしています。中学校の体育祭も種目の数や練習時間を減らし、それを勉強時間に充てるなど工夫をしています。

Q ふるさと納税について、町によってハンデがありすぎる。せっかくのチャンスなので、もう少しふるさと納税してもらえないように研究して欲しい。

A しつかり受け止めます。農家の方々の協力で色んな工夫をさせていただいております。我々ももっと知恵を出していきます。

このほか、まちづくりのアイデアや行政に対するご意見・ご要望、地域の困りごとなどが寄せられました。

急を要するものや後日確認が必要になるものについては、自治会の皆さんや関係機関と協議し、処理状況を関係者や各自治会にお知らせすることとします。

町政懇談会に関するお問い合わせは、総務課情報管理係（TEL 32-2421）までご連絡ください。